

令和2年度 第3回 松山市地域公共交通会議
議事概要

□ 日時・場所

令和3年2月24日（水）10：00～11：00

松山市教育研修センター 2階 小研修室1～3

□ 委員

松山市都市整備部 部長	横本 勝己
松山市都市整備部 副部長 兼 都市・交通計画課 課長	坪内 洋
松山市保健福祉部 介護保険課 課長	橋口 徳則（代理：千原 裕二）
松山市保健福祉部 障がい福祉課 課長	岸 洋一（欠席）
松山市保健福祉部 副部長 兼 保健予防課 課長	篠森 紀子
伊予鉄バス株式会社 部長	岡田 好功
松山市タクシー協会 会長	清水 一郎（代理：仙波 英徳）
一般社団法人愛媛県バス協会 専務理事	稲荷 和重
一般社団法人愛媛県ハイヤー・タクシー協会 専務理事	田所 秀志
松山市高齢クラブ連合会 芸能・文化部長	村木 敏明
松山東雲短期大学 教授	桐木 陽子
松山市身体障害者協会 副会長	松田 豊秋
特定非営利活動法人 自立生活センター松山 理事長	河本 満幸（欠席）
国土交通省 四国運輸局愛媛運輸支局 首席運輸企画専門官	菊池 勝二
全国自動車交通労働組合連合会 愛媛地方本部 執行委員長	宮岡 主
伊予鉄労働組合 書記長	稲石 健
愛媛県警察本部 交通規制課 課長	松下 裕樹（代理：玉田 晃雄）
愛媛県中予地方局 地域政策課 課長	星加 修一

（敬称略 順不同）

※委員総数18名中16名の出席により過半数を超えているため、本協議会は有効に成立する。

□ その他関係者

立岩地区まちづくり協議会 会長	池谷 満
日浦区長連合会 会長	橋本 均
日浦地区まちづくり協議会 会長	長野 喜久男
五明地区支部長会 代表	越智 進三
五明地区まちづくり協議会 会長	中野 泰
伊台地区まちづくり協議会 会長	白石 郁朗
久谷地区総代会 会長	竹田 廣文
久谷地区まちづくり協議会 会長	野中 昭秀
有限会社 北条栗井交通 代表取締役	清水 俊彦
有限会社 栗井タクシー 専務取締役	清水 優佑
松山観光開発株式会社 代表取締役	高木 征史
有限会社祝谷タクシー 代表取締役	寺田 寛海
有限会社 森松交通 代表取締役	松元 宏志
有限会社 砥部タクシー 代表取締役	矢野 孝寛
ネッツトヨタ瀬戸内(株) モビリティ事業部 課長	大石 一浩
久枝地区まちづくり協議会 会長	吉岡 隆
久枝地区まちづくり協議会 事務局	尾崎 隆男
東洋タクシー株式会社 取締役常務	白石 雅大
株式会社 しま交通 代表者	中野 幸博
中島汽船株式会社 取締役総務部長	村上 良二
松山市環境部 環境モデル都市推進課 課長	稲田 靖穂
瀬戸内運輸株式会社 運輸部長	川田 卓哉

(敬称略 順不同)

□ 議事

① 生活交通バス路線の廃止について

事務局

--- 経緯・概要説明 ---

伊予鉄バス株式会社 部長 岡田 好功

- ・本日の会議におきまして、長年地元の方々にご愛顧いただいたバス路線について、新たなコミュニティ交通事業に転換をお願いすることになり、大変心苦しい思いである。
- ・バス事業については、モータリゼーション・マイカー等の普及により、大きく2つの課題を抱えたまま事業を続けている。
- ・1つ目は、沿線人口の減少とマイカー等の普及による利用者数の減少が続いている。
- ・路線バスはほぼ赤字で運行を続け、一部については、愛媛県や松山市からの補助をいただいているが、大部分については、貸切バスや高速バスの収入による内部補填を行う構造で成り立っている。
- ・2つ目は、乗務員の不足である。休みが不規則であることや、就業時間が長いといったマイナスのイメージがあり、募集に苦渋している。
- ・バスの運転に必要な大型二種免許所有者が年々減少しており、当社に限らず、乗務員不足は全国的な課題となっている。
- ・免許取得の補助制度や採用につながる様々な施策を行っているが、なかなか解決には至らないのが現状である。
- ・2つの課題が急激に改善する見込みはなく、収支改善に努めるが、将来的にも持続可能な公共交通を維持するためにも、また、乗務員の労務管理等も厳しくなるので、この会議をもって、新たなコミュニティ交通事業への転換をお願いするものである。ご理解いただき、ご審議をお願いする。

② 生活交通バス路線の廃止に伴う代替交通について

事務局

--- 経緯・概要説明 ---

松山市都市整備部 部長 横本 勝己

- ・バス路線の廃止により大きな影響を受ける地域住民の代表者に様お一人ずつにご意見を伺いたいと思う。

立岩地区まちづくり協議会 会長 池谷 満

- ・立岩地区では生活にどうしても必要な路線バスの廃止は、諸般の事情で致し方ない

ということで、住民全員の了解は得られている。

- ・しかし、公共交通がなくなることは、地域にとって許しがたいことなので、乗合タクシーを導入し、公共交通を守るということをお願いしたい。

日浦区長連合会 会長 橋本 均

- ・日浦地区でも長年、地域住民の足として伊予鉄バスに運行していただいた路線バスの廃止に非常に心配していたが、代替交通を導入するため、松山市の補助及び、タクシー会社のご協力をいただき、乗合タクシーの実証実験を行っていただけということで、期待している。
- ・ある程度の利用者のめどがついて、実証実験から正式導入となれば嬉しいと思う。

五明地区支部長会 代表 越智 進三

- ・伊予鉄バス廃止の件については、もう少し後だと思っていた。
- ・伊予鉄バスの方に区長会にも来ていただき、コロナ禍の中で、経営が苦しい事情を伺った。
- ・五明地区は山間部で通勤・通学はだいぶ減ってきているが、高齢者が多く、バスの廃止を聞いて、高齢者の通院について一番心配していた。
- ・地元としては、伊予鉄バスの事情はある程度納得している。
- ・乗合タクシーがないと、交通の不便な方がたくさんいるので、代替交通を導入していきたいと考えている。

伊台地区まちづくり協議会 会長 白石 郁朗

- ・市や県、バス事業者、タクシー会社をはじめ、多方面のご理解ご協力を得て、今日があることは、重々承知している。
- ・地元の同意がなくても制度上実施されることは知識としては知っている。
- ・それでも地区としては3月31日から廃止に同意は致しかねると言わざるを得ない。
- ・理由を3点述べる。
 - ① 伊台地区については、路線バスの廃止見通しの説明を受けて5か月も経っていないこと。
 - ② 運行区域の道後への延伸が不可から可能という基本的かつ重大な枠組みが示されたのが、年を明けて1月後半であること。
 - ③ 中学生を含める、あるいは無償実証実験期間は認めない、一方、上一万経由はOKなど、新たな枠組み作りが1週間前
- ・タイトでハードなスケジュールで、しかも運送法上の代替交通手段を並行して考えながら、地区の合意形成は、容易でない中、同じ会議に臨まなければならない。

- ・今後このようなことのないようにしていただきたい。
- ・望むらくは、代替交通の運行に至るまで、静かに地区の調整を図りたいので、枠組みを崩すことなく、集中させていただきたい。

久谷地区総代会 会長 竹田 廣文

- ・路線バスの廃止については、住民は非常に驚き、困惑しているのが現状である。
- ・地元では、数年前は、循環バスの導入などを働きかけていったらどうかという流れがあった。ところが、昨年、丹波線の廃止の話が合った。
- ・丹波線は久谷地区の交通網の動脈だと思っている。
- ・しかし、現実問題として、代替交通に頼らなければならないと思うが、乗合タクシーへの移行がスムーズにできるかどうか心配している。
- ・そここのところを配慮していただき、柔軟に対応していただきたい。

松山市都市整備部 部長 横本 勝己

- ・各地区ともにバス路線の廃止に対しては、積極的に賛成はできないものの、伊予鉄バス株式会社の経営状況やバスの利用状況を考えると、やむを得ないとお考えがあるほか、バスの代替交通の導入に期待する声もございましたが、地区の同意形成に時間がなかったとの意見もいただき、こちらとしても厳粛に受け止めたいと考えている。

(その他質問・意見等なし)

松山市都市整備部 部長 横本 勝己

- ・議事①の「生活交通バス路線の廃止について」ご意見もないため、了承することとし、伊予鉄バス株式会社においては、立岩線、五明線、河中線、丹波線の4つの生活交通バス路線の廃止手続きをお願いする。
- ・次に、議事②の「生活交通バス路線の廃止に伴う代替交通について」ご意見もないため、了承することとし、事務局においては、令和3年4月1日から予約制乗合タクシーの試験運行を開始するための、手続きをお願いする。

□ その他

- ① 久枝地区における予約制乗合交通「チョイソコひさえだ」実証実験の中間報告について

事務局

--- 経緯・概要説明 ---

ネッツトヨタ瀬戸内（株）モビリティ事業部 課長 大石 一浩

--- 資料 「チョイソコひさえだ」実証実験 第1期運行計画

(2021年1月13日～2022年3月31日) 中間報告 説明 ---

(質問・意見等なし)

松山市都市整備部 部長 横本 勝己

- ・実証実験の後、本格運行に移行する場合には、改めて本会議に諮るので、よろしくお願ひしたい。

② 中島地区のグリーンスローモビリティについて

事務局

--- 経緯・概要説明 ---

松山市環境モデル都市推進課 課長 稲田 靖穂

--- 資料 中島地区のグリーンスローモビリティについて 説明 ---

(質問・意見等なし)

松山市都市整備部 部長 横本 勝己

- ・議事は以上となるが、その他ご意見等ないか。

国土交通省 四国運輸局 愛媛運輸支局 首席運輸企画専門官 菊池 勝二

- ・バス路線は全体的に赤字であり、引き続きバスの利用をお願いしたい。
- ・新たな公共交通の導入に際し、タクシー会社のご協力いただきながら検討をすすめていただければと思う。

(その他質問・意見等なし)

松山市都市整備部 部長 横本 勝己

- ・本市としては、各地区の皆さまにご心配やご不安をおかけしていることも分かったため、今後はしっかりと丁寧に説明してまいりたいと思う。

以上